

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	3単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	数研出版『言語文化』				
副教材等	浜島書店『新訂版 常用国語便覧』、数研出版『読解を大切にする要点プラス体系古典文法』、桐原書店『基礎から解釈へ漢文必携五訂版』、筑摩書房『語彙力をつける入試漢字2600』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 古典作品や文学作品を読解し、鑑賞するために必要な基本的語彙、文法事項、句法の習得や文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ② 様々な作品を通して、優れた表現や作者(筆者)の価値観に触れ、感性を磨き、思考力を深めるとともに、自分の気持ちや考えを表現できる力を育てることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、課題考査、定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、課題考査、定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・リフレクションシートの分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・リフレクションシートの分析 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	説話	5 「C 読むこと」	児のそら寝 『体系古典文法』第一章 一用言(3) 動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	近代小説 (一)	1 「B 書くこと」 6 「C 読むこと」	芥川龍之介 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・比喩などの修辞を理解する。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 	7	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	入門	5 「C 読むこと」	漢文入門一 漢文入門二	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまりを理解する。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 	5	ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	定期考査	1 「B 書くこと」			1	
6	随筆(一)	5 「C 読むこと」	徒然草 『体系古典文法』第一章 一用言 (4) 形容詞 (5) 形容動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	近代小説	1 「B 書くこと」 7 「C 読むこと」	西加奈子 「サラバ！」	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の少年が互いの言語の違いを越えて関係を結ぶことから、日本人とエジプト人の置かれた社会的状況の相違を浮き彫りにする点において、他者との違いを認めた上で自分の意見や考えを論述する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 	8	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
7	定期考査	1 「B 書くこと」			1	
	故事	5 「C 読むこと」	漁父之利 狐借虎威	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
8	歌物語	5 「C 読むこと」	伊勢物語 『体系古典文法』第二章 付属語 一助動詞①	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	9	詩歌	4 「B 書くこと」	短歌 俳句	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	4
10	定期考査	1 「B 書くこと」			1	

11	史伝	5 「C 読むこと」	先従嵬始 鶏口牛後	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	物語	5 「C 読むこと」	竹取物語 『体系古典文 法』第二章 付属語 一助動詞②	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国最初の物語を読んで、当時の風俗や習慣について現在の習慣と比較しながら理解する。 ・主として助動詞について文語のきまりを理解する。 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	近代小説 (二)	1 「B 書くこと」 7 「C 読むこと」	志賀直哉 「城の崎に て」	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 	8	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	漢詩	4 「C 読むこと」	中国の詩	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
12	定期考査 随筆 (二)	1 「B 書くこと」 5 「C 読むこと」	枕草子 『体系古典文 法』読解編 第一章敬語	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。 	1 5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
1	思想	4 「C 読むこと」	論語	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。 	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	日記文学	7 「C 読むこと」	土佐日記 『体系古典文 法』本編 第二章付属語 二助詞	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・主として助詞について文語のきまりを理解する。 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 	7	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
2	定期考査 軍記物語	1 「B 書くこと」 6 「C 読むこと」	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の代表的な思想である「無常(観)」を理解し、源平の争いの中で生きた人物の隆盛と没落に反映されていることを確認する。 ・対句表現や対句構造に注目する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	1 6	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)

3	俳諧紀行	3 「C 読むこと」	おくのほそ道	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の古典文学を代表する傑作のひとつを読んで、句と文章が一体となった俳諧紀行文を鑑賞する。 漢文からの引用、数詞の活用といった工夫を凝らした表現や文章全体の構成など、作者の意図的な深い創意を味わう。 	3	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
---	------	---------------	--------	---	---	---

計96時間 (55分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 0 時間	B 「書くこと」 12 時間	C 「読むこと」 64 時間【古典】 20 時間【近代以降の文章】
-----------------	-----------------------	-------------------	---

6 課題・提出物等

- ・週末課題を課します。
- ・『基礎から学ぶ解析古典文法』から毎週小テストを実施します。
- ・単元ごとに、リフレクションシートを記入し、提出します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

7 担当者からの一言

「言語文化」は、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を育成する科目です。言語文化への理解を深め、必要とされる資質や能力を身に付けたり、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。授業では正しく内容を理解するために語彙力や文法の知識を身に付け、言語活動を通して伝統や文化について興味・関心を深められるような学習をしていきます。毎時間の授業と予習・復習を大切に、意欲的に取り組んでください。
(担当：五十嵐 陽子)